

中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」

学校教育目標

学校教育目標「共に生きる」の達成を目指し、そのために生徒に身に付けてほしい力を5つの視点で表し、相互に関連付けながら育んでいきます。

- 探求する心と学び続ける力(知)
○優しい心としなやかに生きる力(徳)
○健やかな心と体(体)
○社会のために協働する力(公)
○未来を切り拓いていく力(開)

教育課程全体で
育成を目指す資質・能力

具体化した資質・能力

- 学びに向かう力
○社会に適應する力
○生きがいを見出す力

「気づき考える」「自分で決める」「進んで行動する」

中期取組目標

社会に貢献する一員として、自分らしさを発揮し、生きがいと誇りをもって、幸せに生きる人の育成を目指し、中学校3年間、生徒に次のことを意識させていきます。

学力向上アクションプラン

Table with 2 columns: 重点取組分野 (確かな学力) and 具体的取組 (ICT教育の充実を図ると共に授業づくりの視点を共有する...)

学力向上に関わる本校の状況
全体的に横浜市の平均を上回っている状況である。多くの教科で「基礎・基本」問題、「活用」問題の正答率がともに市の正答率を上回っているが、ほとんどの教科で「活用」問題の正答率が「基礎・基本」問題の正答率よりも低くなっている傾向がある。

Table with 2 columns: 今年度の目標 (確かな学力の定着と自ら課題を発見、解決できる資質、能力の育成)

目標を実現するための具体的行動プラン
国語: スピーチや討論、作文などの様々な言語活動を取り入れて、考えや気持ちを聞いたり話したりする機会を設ける。

下半期
「勉強が大切だと思いませんか?」という質問に対して、ほとんどの教科で「そう思う」「どちらかという」と回答する割合が市の平均を下回っており、学力に対して、学習意識や生活意識が低くなっている。

豊かな心の育成推進プラン

Table with 2 columns: 重点取組分野 (豊かな心) and 具体的取組 (①生徒の主体性を伸ばしていくために、生徒会活動や学級活動を活発に行い、主体性を引き出し、協働する素晴らしさを多く体験させる。)

豊かな心に関わる本校の状況
(1)これまでの取組状況
全生徒に対して自尊感情を育む働きかけを大切にし、自己有用感を高める声かけの工夫や生徒の話をじっくり聞く(受容と共感、傾聴)を心がけている。

Table with 2 columns: 今年度の目標 (言語活動の充実 自己肯定感を高め、自他を受け入れるしなやかな心の育成)

Table with 2 columns: 目標を実現するための具体的行動プラン (国語: 言語感覚を豊かにし、伝え合う力を高め、社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。)

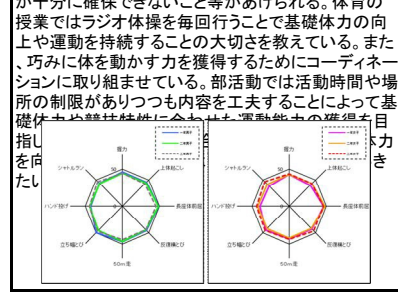
健やかな体の育成プラン

Table with 2 columns: 重点取組分野 (健やかな体) and 具体的取組 (①体育祭や球技大会等の体育的行事を計画的に行うことにより、生徒の運動や体力づくりに対する関心を高めたい。)

健やかな体に関わる本校の状況
(1)体育・健康に関する実態
「運動が好き」と答える生徒が男子は9割、女子も8割弱いることから、体を動かすことが好きで運動に前向きに取り組もうとする意欲がある生徒が多いという実態がある。

Table with 2 columns: 今年度の目標 (体力向上1校1実践運動 ラジオ体操 基礎体力の向上、巧緻性、柔軟性の向上、怪我をしない身体づくり)

目標を実現するための具体的行動プラン
《保健体育科での取組》
授業の準備体操で毎時間ラジオ体操を行い、基礎体力の向上に努める。



下半期
《特別活動・総合的な学習の時間》
学校行事の中で、体育的行事を多く企画し、その行事の練習時間を確保する。